

## 令和元年度第2回東郷町地域公共交通会議 議事録要旨

日時 令和元年10月17日(木)  
午後3時から午後4時15分まで  
場所 東郷町役場2階 大会議室

出席者(敬称略・順不同)

	役職	氏名	所属等
1	会長	松本 幸正	名城大学 理工学部 社会基盤デザイン工学科 教授
2	副会長	野々山 睦正	東郷町 福祉部長
3	委員	真野 幸則	諸輪地区代表
4	委員	石川 泰洋	祐福寺地区代表
5	委員	大塚 誠	白土地区代表
6	委員	齋藤 秀平	和合ヶ丘地区代表
7	委員	横井 一男	御岳地区代表
8	委員	吉岡 実	名鉄バス(株) 営業本部運行部運行課長
9	委員	栗木 康年	公益社団法人 愛知県バス協会 業務課長
10	委員	横山 貴幸	瀬戸自動車運送(株) 取締役
11	委員	毛利 康浩	愛知県交通運輸産業 労働組合協議会幹事
12	委員	上井 久仁彦	国土交通省中部運輸局 愛知運輸支局首席運輸企画専門官
13	委員	児玉 朋孝	愛知県都市整備局 交通対策課主査
14	委員	吉積 正樹	愛知県愛知警察署 係長
15	委員	加藤 克彦	東郷町 都市建設部長
16	委員	清水 創一	みよし市政策推進部 次長兼企画政策課長

欠席者 4名、傍聴者 7名

### 1 会長あいさつ

- ・ 暑さがひと段落し、過ごしやすくなってきた。夏は、暑さから高齢者を中心に外出を控え、バスの利用者も減少するが、そろそろ増加すると思う。
- ・ ららぽーとが形になってきており、再編案も固めていく必要がある。
- ・ 本日は、再編の方向性が決まったということで、委員の皆様にはそれぞれの立場からご審議いただきたい。

## 2 議題

### (1) 東郷町巡回バス再編について（資料 1-1、1-2）【事務局説明】

#### 【委員】

- ・ 本日の議題(1)は、協議することとなるか。
- ・ 今後、いつ会議を開催し、いつ頃までに何を決めていくかなどの長期的なスケジュールがあった方が議論しやすいと思う。

#### 【事務局】

- ・ 今回いただいた意見や、タウンミーティングでいただいた意見などについて、事務局で検討し、必要に応じて本案の修正をかける。次回の公共交通会議は、1月の開催を予定しており、その中でお示しし、諮ることを考えている。

#### 【会長】

- ・ 本日は、届出事項の承認でなく、大まかな方向性の確認である。そのため、バス停の位置やダイヤなどまで、承認を得ることはない。
- ・ 再編後の運行開始は、令和3年4月1日である。そのため、手続きとしては、令和2年12月や令和3年1月くらいの地域公共交通会議で、承認を得ることができれば間に合うが、早めに承認を得ることは考えているか。

#### 【事務局】

- ・ バス停の位置やダイヤなどは、令和2年9月を目途に確定できるよう、委員の皆様と協議を進めていく予定である。運輸局への許可申請については、令和3年の年明けに行い、4月から運行開始というスケジュールで考えている。次回の公共交通会議で、今後のスケジュールをお示ししたい。

#### 【会長】

- ・ ららぽーとのオープンは来年の秋頃か。

#### 【事務局】

- ・ 来年の秋頃ということで、三井不動産がプレスリリースしている。

#### 【会長】

- ・ 開業後まもなくは、おそらく大変な渋滞となるため、その時点では乗り入れせず、しばらく経って、落ち着くと思われる4月から乗り入れるということか。

#### 【事務局】

- ・ はい。

#### 【委員】

- ・ 名鉄バスについて、バスターミナルを経由する検討は行っているか。知立～愛知教育大学～日進駅を走る路線がある。学生から、バスターミナルで乗り換えて赤池駅に行きたいという要求を聞いたことがある。学生からすると、交通手段は非常に重要で、バスターミナルで乗り換えることで、ららぽーとやプライムツリー赤池の周辺でアルバイトができると思う。そのようなことについて、名鉄バスはどのような

考えがあるか。

**【委員】**

- ・ 知立駅～愛知教育大学～日進駅まで運行している、愛教大線については、バスターミナルに乗り入れる計画である。愛教大線は、学生利用が非常に多い路線である。このことから、日進駅から最短で愛知教育大学を結ぶことを始め、ららぽーとの開業の時間帯も踏まえながら、今後ダイヤを検討する。
- ・ 既存の赤池駅から豊田市駅へ行く星ヶ丘豊田線は、時間4本以上は走る、比較的運行頻度の高い路線である。この路線については、バスターミナルを経由させると、相当時間がかかることが予想されるため、ららぽーとの北側の和合西口という既存の停留所を利用していただき、赤池駅まで乗り入れる計画である。

**【委員】**

- ・ 御岳の場合は、資料1-2で見ると、諸輪公民館前停留所から白鳥コミュニティセンター前停留所に向かって北上する路線が廃止されており、今まで2系統あったものが1系統となり、今は、大坊池公園前、御岳一丁目東、御岳一丁目北、御岳公園西と4つある停留所が、再編後は半分になる。再編の目的として、ららぽーとへ行くということがあると思うが、地元の人は、近所のスーパーや郵便局等に行くために巡回バスに乗ることが多い。御岳は停留所の数が半分になり、行く方向が限られ、不便になる。そのため、新再編案の北コースのルートを変更し、買い物等しやすいよう、ルート変更を検討してもらうことは可能か。
- ・ 特に大坊池公園前停留所を利用している人は、再編後は御岳公園前まで歩かなければならないため、大変だと思う。また、御岳公園西停留所を利用している人が結構いると思う。ここは、コミュニティセンターもあるのに廃止するか。

**【事務局】**

- ・ 今回の新再編案は、これで決定というわけではなく、委員の皆様やタウンミーティングでご意見をいただきながら、反映の可否を事務局で検討し、次回の公共交通会議で、お示しする予定である。
- ・ 新再編案の考え方としては、近隣停留所を利用いただくというものである。利用の大小に応じて停留所を整理しているが、再度、利用実態等を確認して検討したい。

**【委員】**

- ・ 御岳の場合、ららぽーとまで距離と時間がかかるため、高齢者は近所のスーパーに行きたがると思う。その時にバスが2系統あれば、どちらかを利用して行くことができる。通勤時間帯に乗車している人は、20歳前後～60代中盤くらいであるため、歩くことは苦にならないと思うが、高齢者のことを考えると、歩く距離が長くなり、不便になるため、もう少しルートを考えていただきたい。

**【事務局】**

- ・ 細かく利用者数を調べ、比較的利用が少ないところを見直して、お示ししたのがこ

の新再編案である。特に、大坊池公園前停留所～諸輪公民館前の区間は、利用者が少なく、逆に御岳から諸輪住宅方面は多かったため、残すこととした。すべてのご意見に細かく対応することは難しいが、今のご意見を参考として、再度、詳細データを確認しながら、利用しやすいよう検討したい。

#### 【委員】

- ・ 巡回バス利用者のうち、高齢者がどのくらい占めるかは分からないと思うが、諸輪住宅は、停留所が4つあり、充実している。諸輪住宅の世帯数から4か所ならば、御岳は世帯数も高齢者も同等以上だと思う。このことから、停留所が2か所しかなくなるのは、いかがと思う。
- ・ 通勤時間帯は、乗車が集中するため、高齢者が行動するのは、それ以外の時間帯である。巡回バスは、高齢者にとって生活の足であるため、不便になるのは避けていただきたい。

#### 【事務局】

- ・ 再編に合わせ、停留所も見直す可能性もあるため、今のご意見を参考にして、検討を進めたい。

#### 【会長】

- ・ 巡回バスを利用して、買い物や病院等に行くのは、基本的なことであるため、その地区地区で、このような生活が送れなくなるのはよくない。データを見ながら、利用者がどこに買い物に行くかなどを踏まえ、詳細を詰めてほしい。
- ・ 藤田医科大学病院に行くバスを運行するため、どこかは犠牲にならざるを得ない。重要なのは、それが許容できるかどうかということ、全てがこれまでどおりというわけにはいかないということは、認識しなければならない。今いただいたご意見を事務局で再度精査して、検討してほしい。

#### 【委員】

- ・ 資料1-1の「3新再編案の作成」では、「デマンド型交通は、導入について引き続き調査検討」となっており、調査した結果、なかなか東郷町に合うシステムがないということだが、調査検討はどのような形ですか。
- ・ 資料1-1の「1再編案の概要」では、「時間限定運行区域及びカット区域については、デマンド型交通の導入を検討」と記載があり、諸輪の場合は、東脇の路線が対象と思う。しかし、「小学生が利用する路線は、時間限定運行で対応」としたとき、高齢者が利用したい場合は、どのように対応するか。デマンド型交通で対応できるならよいが、検討することとなれば、対応が必要なのではないか。

#### 【事務局】

- ・ 資料1-1の「1再編案の概要」については、3月時点で作成した再編案の概要であり、この再編案を6月の公共交通会議でお示しした後、数ヶ月かけて事務局で実現可能性の高いものとなるよう作成したのが、「3新再編案の作成」である。当初、

「小学生が利用する路線は、時間限定運行で対応」という計画があったが、諸輪地区の利用状況を再度精査したところ、利用の多い停留所がいくつかあったため、時間限定運行でなく、これまでどおり、定時定路線運行とすることとした。

- ・ デマンド型交通は、高齢者の利用が期待されるため、高齢者が使いやすい仕組みを調査したところ、色々な地区で苦労していることが分かった。現時点では、よい打開策やシステムがなかなかないが、民間事業者は新しい機能の開発等しているため、近い将来、本町に合うシステムが出るだろうと思うが、今の段階では、高額の負担をしてまで、本町が導入する段階でないと判断した。今後も、引き続き調査し、良いものがあれば、実験・導入したいと考えているため、その際は、高齢者の使いやすさを考慮したい。

#### 【委員】

- ・ シャトルバスの発着は、バスターミナルということだが、片道どのくらいかかるか検証したか。
- ・ シャトルバスを利用する場合は、バスターミナルに行く必要があるか。

#### 【事務局】

- ・ 試走したところ、役場から藤田医科大学病院まで、16～18分程度である。しかし、朝夕の渋滞しやすい時間は、このとおりに行くことができない可能性があるため、ダイヤ等については、今後検討したい。
- ・ 本町のまちづくりとして、町の中心地にバスターミナルを設け、これを交通結節点として位置付けている。新再編案では、シャトルバスの発着をバスターミナルとしており、ここから藤田医科大学病院に行くことが、最も効果的と考え、このような案としている。

#### 【委員】

- ・ シャトルバスのコースについて、東郷町の部分しかないが、豊明市の中は、どのように走るか。

#### 【事務局】

- ・ 資料1-2の「至豊明市前後駅」と記載しているところから、瀬戸大府東海線を縦断するような形で沓掛の方に抜け、途中で右折して直進し、藤田医科大学病院が左手に見えるようなルートを検討している。しかし、豊明市から、渋滞しやすい箇所があるという話を聞いているため、このルートについては、ご意見いただきながら検討したい。

#### 【委員】

- ・ シャトルバスについて、高齢者が自分の予約時間に間に合わせるため、通勤時間帯と重なることを心配している。藤田医科大学病院は、検査してから診察という流れであるため、9時くらいに着きたい人が多いと思う。9時に着くということは、バスターミナルに、8時半くらいに着いていないといけないため、通勤の人と動くタ

イミングが重ならないか心配である。利用してもらうためには、色々と考えておかなければならない。

**【事務局】**

- ・ ダイヤは今後検討するため、今のご意見も踏まえて、実際のニーズに合わないようなことにならないよう、検討を進めていきたい。

**【会長】**

- ・ ラッシュ時間帯にバスを利用したくないならば、昼前の診察に変えていただくなどの工夫が必要かもしれない。利用者の最寄り停留所からバスターミナルまで、時間がかかるので、その時間も含めたダイヤ設定を考えるとよい。
- ・ 南西コースは、いこまい館に入らないか。

**【事務局】**

- ・ 公共施設が集約しているエリアであるため、コースの延長等を考え、いこまい館に直接乗り入れず、役場の正面に乗入れることを想定している。タウンミーティング等でご意見をいただきながら、検討していきたい。

**【会長】**

- ・ 役場に右折で入り、駐車場の中をUターンして、左折して出ていくということか。

**【事務局】**

- ・ はい。

**【委員】**

- ・ シャトルバスは、どのくらいの大きさを想定しているか。

**【事務局】**

- ・ 巡回バスで使用しているポンチョより小さい、ハイエースやマイクロバス程度の大きさを想定している。

**【委員】**

- ・ ハイエースの大きいものだと、13人乗り程度なので、運転手を除くと12人しか乗ることができない。東郷町で、藤田医科大学病院に行きたいという需要があると考えられる中、特に、朝早くに行き、なるべく早く帰りたいというニーズが多い場合、乗りこぼし等が発生する可能性がある。そのため、今後開催するタウンミーティングにおいて、どれくらい藤田医科大学病院に行く必要があるか、調べるとよい。

**【事務局】**

- ・ バスの大きさを想定した根拠の一つとしては、昨年度行った町民アンケート調査において、藤田医科大学病院の利用頻度は、年に数回が5割以上、次いで年に1回、2回という結果であったことである。しかし、シャトルバスを運行することで、利用頻度に変化する可能性があるため、色々なご意見をいただき、場合によっては、試行期間等も入れながら、決めていきたい。

**【委員】**

- ・ シャトルバスについて、バスターミナルが発着地ということだが、いこまい館を経由する考えがあるか。
- ・ シャトルバスは、途中で乗客を拾わないと捉えてよいか。

**【事務局】**

- ・ いこまい館は経由せず、バスターミナルに集まってもらい、そこを発着点として藤田医科大学病院に乘入れる計画をしている。
- ・ バス停を設ける予定はない。バスターミナルは、町の交通結節点であり、人が集まるため、直接、藤田医科大学病院に乘入れることが最も効果的と考えている。

**【会長】**

- ・ 事務局としては、現在そのように考えているが、タウンミーティング等で、色々な意見があれば、見直しもあり得るということである。
- ・ 既存の停留所がなくなる箇所があるが、そこに対する考え方を教えてほしい。非常に利用が少ないから、やむなく廃止するというような説明もあったが、全部が全部そうではないと思う。

**【事務局】**

- ・ 廃止をやめることや停留所の移動・追加も一つの方法だと思う。本日、ご意見をいただいたので、それを含めて検討したい。

**【会長】**

- ・ 利用者として安心できるのは、代替のバス停があることだと思う。色々と詰めてもらい、新しい路線上に停留所を移動させ、200m程の移動で乗れるということであれば安心できるが、代替の停留所がないと、利用者にとって不便になってしまう。

**【事務局】**

- ・ 今のご意見を含め、利用しやすいよう検討したい。

**【委員】**

- ・ 資料1-1の「3新再編案の作成」の「乗り換え促進のため、該当者には乗り換え無料券等を配布」とあるが、この該当者というのは誰か。
- ・ 運賃の割引制度であるため、今後、運賃の協議が必要になってくる。

**【事務局】**

- ・ 該当者は、巡回バス同士で乗り継ぎをする人を指す。

**【会長】**

- ・ 名鉄バスへの乗り換え割引はどうか。

**【事務局】**

- ・ 仕組みについて課題が多いが、少しでも利用しやすくなるよう、今後も知恵を出しながら、検討したい。

**【会長】**

- ・ 運転手に負担をかけられない中で、どのような形で実現していくかが課題である。既存の路線バスがあれば、それを活用することが最も効率的である。色々なアイデアを考えてほしい。簡単にはできないのは分かるが、諦めずに考えたい。

**【委員】**

- ・ シャトルバスについて、東郷町民は65歳以上と中学生未満については、無料で往復できるか。

**【事務局】**

- ・ シャトルバスの運賃については、便利さや既存の路線バスの運賃などを考慮しながら、今後検討する。

**【委員】**

- ・ 資料1-1に「大規模病院には、バスターミナル発のシャトルバスを導入（経費削減分を充当）とあるが、運賃は未確定か。
- ・ 藤田医科大学病院に東郷町から利用者を送るため、費用についてある程度負担してもらってはどうか。難しいかもしれないが、交渉してもよいと思う。

**【事務局】**

- ・ 「経費削減分を充当」というのは、今の巡回バスの運行を見直したことにより削減した経費をシャトルバスの運行に充てるという意味である。
- ・ 藤田医科大学病院には、現在、シャトルバスを乗り入れるための停留所を確保していただくよう依頼している。次の段階で、費用負担のことについて、交渉したい。

**【委員】**

- ・ シャトルバスについて、瀬戸大府東海線を直進すれば、豊明市に抜けることができるのに、春木台四丁目あたりで曲がるのはなぜか。

**【事務局】**

- ・ 試走したところ、このルートが最もスムーズであったので、このようにした。ルートについては、これから検討を重ねる段階なので、ご意見をいただきながら決めていきたい。

**【会長】**

- ・ 朝は渋滞するが、その時間帯を外せば、瀬戸大府東海線の方が早いかもしれない。この路線は仮ということなので、今後検討してほしい。

※議題(1)について、委員の承認を得た。

(2) その他

特になし。

### 3 その他

#### (1) 公共交通に関する各種イベントの報告と案内について（資料2、資料2-2）

##### 【事務局説明】

##### 【委員】

- ・ 公共交通に触れる色々な行事・イベントを、各市町村で色々実施していると思う。将来的でよいので、車いすをバスに乗せて固定するなど、交通のバリアフリーに触れる・学ぶこと、また、現在、この地域を含め GTFIS 化が進んでいるが、まだ、よく触れられておらず、分からない人が多いと思うので、たとえば、タブレットを持ち込んで実際に検索してもらうというような機会を設けていただけたらありがたい。

##### 【事務局】

- ・ 将来でなくてもできると思うので、近いうちにできるように調整する。

#### (2) その他

愛知県都市整備局交通対策課より、「エコモビリティライフ県民の集い2019」の開催についてのご案内。

以 上